



やまふじ ようこ
山藤 陽子
(公明会)

保健福祉

安心して搾乳できる環境について

問 女性が安心して搾乳できる場所の設置及び授乳室を利用できるようにする予定はあるか。

部長 公共施設は現状23施設を考えている。母子手帳の発行、パパママ学級、赤ちゃん訪問など母子健康事業での啓発も進める。



災害時の妊産婦と母子の支援について

問 被災した妊産婦、母子への具体的な支援内容は。

部長 医療救護、健康支援班、保健師が定期的に避難所を巡回し、早期発見、早期対応を行う。

問 静岡県助産師協会と災害時等の母子支援協定を締結する予定はあるか。

部長 災害時医療の対策強化につながる。庁内関係部署と検討し、協定締結に向けて前向きに取り組む。

避難生活の不安やストレスを
おいしい食事で作らげる



こんどう ちづる
近藤 千鶴
(超党派虹の会)

教育

学校の統廃合の方向性について

問 具体的な方向性を明確にすることで建設的な議論が行われると思うが、今後の方向性は。

教育長 令和7年度に入り改めて意思確認をし、具体的な方向性を示してほしい意見には、提案を示す形で協議を進めていく。

問 文部科学省は首長自らが先頭に立ち、自らの言葉で住民に向けて発信すべきだと言っている。市長として統廃合を進めていかなければならないことを言って頂きたいがいかがか。

市長 教育委員会が進めていくことが賢明だが、そろそろ思い切った決断を下す時期に来ているなという認識はある。

問 富士宮市で暮らしている子どもたちに、同じ教育環境の中で教育を受けていかせるのが私達の役割である。一刻も早く方向性を示して進

めて行ってほしいがいかがか。

教育長 地域のコミュニティーの思いも大事だが、こどもの事を中心に考えてほしいという意見が多いので心強く感じている。

スクールロイヤーについて

問 学校現場での法的な問題が増加している中、スクールロイヤー（教育行政に関与する弁護士）の配置は検討しているか。

教育長 静岡県のスクールロイヤー活用事業を活用している。

問 藤枝市が実費で3人設置、静岡市と浜松市が県弁護士会と協定を結んだ。教師は大変様々な問題を抱えていて、一人ではとても抱えきれない。

教育長 スクールロイヤーのような方がいればいいと思う。保護者等からの苦情や要求、いじめの相談が多い。7年度は学校教育課に相談の窓口となってくれる会計年度任用職員を配置。学校の困り感に寄り添っていきたい。